

校友会活動を振り返って

2018年3月19日

東京都市大学 工学研究科 都市工学専攻 2年  
計画マネジメント・皆川研究室 藤岡 佳祐



校友会の事務にて、HPの編集を担当させていただきました大学院都市工学専攻2年の藤岡佳祐と申します。このたびは会報誌「りよくど」の場をお借りいたしまして、校友会の学科同窓会・地方、職場支部HP作成からの総括をさせていただきます。

この約2年間の校友会での活動は、結論から先に申しますと非常に濃密なもので、とても多くのことを学ばせていただきました。あまり人との交流が得意ではない私のような人間にも、真摯に接していただいたこと。その理由は何よりこの武蔵工業大学よりつながる東京都市大学を卒業生の方々が愛しており、そこに身を置いている在校生を大切にしてくださっていることからであると深く感じております。

2年間で緑土会に関する活動は、HPに掲載される記事の編集、HP編集部会への参加、緑土会総会のお手伝い、学科内組織である新緑会の在校生向けイベントでの緑土会との連携(交流会、研究所見学)、などを行いました。

### 【記事の編集】

「りょくど」に掲載される記事の編集では、作業をしつつ様々な卒業生の方々の都市工学へ志した理由や、仕事の来歴、海外のトンネルに関する長大な論考などに刺激を受けました。社会人の方と話す機会では就活の説明会などがありますが、ここに寄稿されている文章に、より個人の仕事や人となりを感じることができます。また、差し入れとして千葉支部の方が落花生を送ってくださり、「大したこともしていないのにいただいているのだからか」と内心思いながら美味しくいただいたことも、つい最近のことのように覚えております。

緑土会の皆様もご存じのとおり、学科同窓会 HP のなかで、緑土会のページは他の通随を許さないほど情報量となっております。これは、この学科に身を置く者としてとても喜ばしいことですし、学生により見ていただきたいと常々思っております。

### 【HP 編集部会への参加】

HP 編集部会では実際に卒業生の方々と話す機会として、HP の内容を議論する以外にも、「現場は生き物」であり、職人さんから様々なことを学んだことなど、実務に携わる方の話を多く訊くことができた素晴らしい機会でした。都市工学は経験知がとても重要となるのでこのような機会をこれからも大切にしていきたいと思っております。また、これからも総会などでお会いした際には、皆様のお話をきかせていただければとても嬉しいです。

### 【緑土会総会のお手伝い】

年に一度の緑土会総会では HP の説明係やカメラマンとして存分に楽しませていただきました。計 3 回ほどしか総会には参加していませんが、最後の校歌斉唱にはいつも高揚した気分になりますし、卒業生の方々はこの大学を愛しているのだなと感ずることができました。

### 【緑土会との連携】

そして最もやりがいのあった活動は在学生向けに行った交流会と研究所見学でした。緑土会の小林哲男様のご尽力により実現したのですが、今までにない企画だったため在学生側の調整に苦心したことを覚えています。これらの企画で在校生には、緑土会という分厚い学科同窓会があり、支援してくださっているという意識が想像以上に低いことがわかりました。ですが、この課題に関しては今年度の担当していただいた後任の野口さんが新緑会の記事を継続的に掲載しているなど、私のできなかったような積極的な活動が見られるので良い方向に向かっていると思います。

私はこの 3 月で修士課程を修了し、社会人という新たな段階を迎えますが、今後もこの大学の都市工学科、そして緑土会のこれまで以上の発展のため、微力ながら力を注ぎたい

と思っております。また総会などでお会いできれば嬉しいです。

最後になりましたが、校友会事務室の小杉様、船越様、渡辺様、新緑会の野口さん、緑土会の小林様、黒沼様をはじめ緑土会の皆様に感謝申し上げます。